

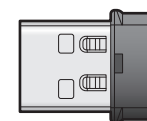


Wireless LAN Adapter

IEEE802.11n/11g/11b 準拠 USB2.0 対応 無線 LAN アダプタ

LAN-W150NU2AB・AW・HT
LAN-GMW3DS・VIT

User's Manual for Windows



Windows 版ユーザーズマニュアル

このマニュアルは、別冊の「かんたんセットアップガイド」とあわせてお読みください。

●このマニュアルで使われている用語

このマニュアルでは、一部の表記を除いて以下の用語を使用しています。

用 語	意 味
本製品	無線LANアダプタ「LAN-W150NU2AB」、「LAN-W150NU2AW」、「LAN-W150NU2HT」、「LAN-GMW3DS」、「LAN-GMWVIT」を称して「本製品」と表記しています。
11n/11g/11b	IEEE802.11n規格を「11n」、IEEE802.11g規格を「11g」、IEEE802.11b規格を「11b」と省略して表記している場合があります。
11bgn	11n/11g/11bの略です。
無線ルータ	「無線LANブロードバンドルータ」を略して「無線ルータ」と表記しています。
無線AP	「無線LANアクセスポイント」のことを略して「無線AP」と表記しています。
無線親機	無線ルータ、無線APを総称して「無線親機」と表記しています。
無線子機	無線LAN機能を内蔵したパソコン、無線アダプタを取り付けたパソコン、無線コンバータを接続した機器などを総称して「無線子機」と表記しています。また、無線アダプタ、無線コンバータそのものを「無線子機」として表記している場合があります。
有線クライアント	有線LAN機能または有線LANアダプタを搭載したパソコンなどを「有線クライアント」と表記しています。

●このマニュアルで使われている記号

記 号	意 味
 注 意	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。
	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

ご注意

- 本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告なしに変更する場合があります。
- 本製品に付随するドライバ、ソフトウェア等を逆アセンブル、逆コンパイルまたはその他リバースエンジニアリングすること、弊社に無断でホームページ、FTPサイトに登録するなどの行為を禁止させていただきます。
- このマニュアルの著作権は、ロジテック株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
- 本製品の日本国外での使用は禁じられています。ご利用いただけません。日本国外での使用による結果について弊社は、一切の責任を負いません。また本製品について海外での（海外からの）保守、サポートは行っておりません。
- 本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。
- Microsoft、Windows Vista、Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®およびTMは省略させていただきます。

IEEE802.11n/11g/11b準拠 USB2.0対応 無線LANアダプタ

LAN-W150NU2AB・AW・HT LAN-GMW3DS・VIT

User's Manual for Windows Windows版ユーザーズマニュアル

はじめに

この度は、ロジテックの無線LANアダプタ製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルには、無線LANアダプタを使用するにあたっての手順や設定方法が説明されています。また、お客様が無線LANアダプタを安全に扱っていただくための注意事項が記載されています。導入作業を始める前に、必ずこのマニュアルをお読みになり、安全に導入作業をおこなって製品を使用するようにしてください。

このマニュアルは、製品の導入後も大切に保管しておいてください。

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

 警 告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
 注 意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

警 告



本製品の分解、改造、修理をご自分でおこなわないでください。
火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。



本製品を取り付けたパソコン本体から発煙や異臭がしたときは、直ちに使用を中止したうえで電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店もしくは当社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。



本製品を取り付けたパソコン本体に、水などの液体や異物が入った場合は、直ちに使用を中止したうえで電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店もしくは当社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。



本製品を、水を使う場所や湿気の多いところで使用しないでください。
火災や感電、故障の原因になります。

注 意



本製品の取り付け、取り外しのときは、必ずパソコン本体および周辺機器メーカーの注意事項に従ってください。



本製品の取り付け、取り外しのときは、本製品に触れる前に金属性のもの（スチールデスク、ドアのノブなど）に手を触れて、静電気を除去してから作業をおこなってください。

静電気は本製品の破損の原因になります。



本製品および本製品を取り付けたパソコン本体を次のようなところで使用しないでください。

- ・高温または多湿なところ、結露を起こすようなところ
- ・直射日光のあたるところ
- ・平坦でないところ、土台が安定していないところ、振動の発生するところ
- ・静電気の発生するところ、火気の周辺



長期間、本製品を取り付けたパソコン本体を使用しないときは、電源プラグを抜いておいてください。

そのまま使用すると、故障の原因になります。

重要なご注意

本製品を長時間利用すると高温になることがあります。長時間からだに触れていると低温やけどの恐れがあります。
また、取り外しの際は無理をせず、パソコンを終了し、しばらく経ってから取り外してください。

Chapter 1

.....

概要編

1 製品の保証について

製品の保証とサービス

●保証期間

保証期間はご購入の日より1年間です。保証期間を過ぎた修理は有料になります。詳細については本製品に添付の別紙「はじめにお読みください」に記載されている「保証規定」をご覧ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、ご購入の販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

- ・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- ・本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- ・本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

詳しい保証規定につきましては、本製品に添付の別紙「はじめにお読みください」に記載されている「保証規定」をお確かめください。

●その他のご質問などに関して

P11「2.サポートサービスについて」をお読みください。

2 サポートサービスについて

よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアル、修理依頼書、付属品購入窓口などをインターネットでご案内しております。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。

サポートページ 6409.jp

ロジテック・テクニカルサポート(ナビダイヤル)

TEL : 0570-050-060

受付時間：月曜日～土曜日 10:00～19:00

(祝日営業)※ただし、夏期、年末年始の特定休業日は除きます。

本製品は、日本国内仕様です。国外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。また国外での使用、国外からの問合せにはサポートを行っておりません。
This product is for domestic use only. No technical support is available in foreign languages other than Japanese.

テクニカルサポートにお電話される前に

お問合せの前に以下の内容をご用意ください。

- ・弊社製品の型番
- ・インターネットに関するプロバイダ契約の書類
- ・ご質問内容(症状、やりたいこと、お困りのこと)

※可能な限り、電話しながら操作可能な状態でご連絡ください。

設定ポータルサイトでも、
本製品の設定について詳細な手順を確認できます。
「えれさぼ」で検索してください。



3 本製品の概要について

本製品の特長

●限界まで小さくなった！業界最小・最軽量クラスの無線アダプタ

幅14.9×奥行18.5×高さ7.1mm、重さ約2gと、業界最小・最軽量クラスの超小型無線アダプタです。USBポートに接続したときに、PC本体から見える部分は、わずか7mmしかありません。ノートPCなどに装着したままでも、USBポートからの「飛び出し」が気にならず、装着したままでも持ち運ぶことができます。

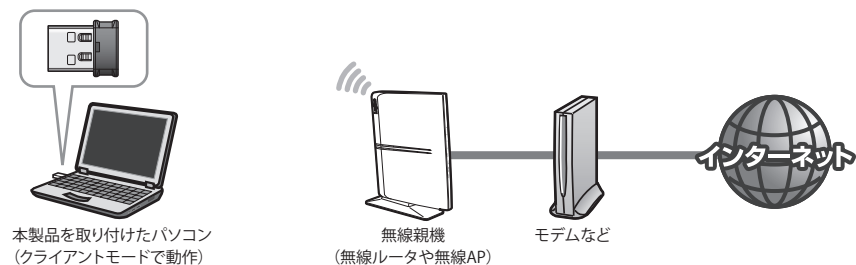
●セットアップが簡単で、すぐに無線LANが使える

付属のCD-ROMに添付されたプログラム「かんたんセットアップツール」と、対応機器ごとの説明に特化した大判サイズのマニュアル「かんたんセットアップガイド」により、説明に従って作業を進めるだけで、簡単にセットアップが完了します。

●2つのモードで使用目的で選べる

①パソコンに取り付けて無線子機として使用する（クライアントモード）、②ホテルなどの有線LAN環境に接続したパソコンに取り付けて無線親機代わりとし、スマートフォンやタブレットとの接続に使用する（APモード）、③自宅などの有線LAN環境に接続したパソコンに取り付けて無線親機代わりとし、Wi-Fiゲーム機との接続に使用する（APモード）といった利用方法が可能です。

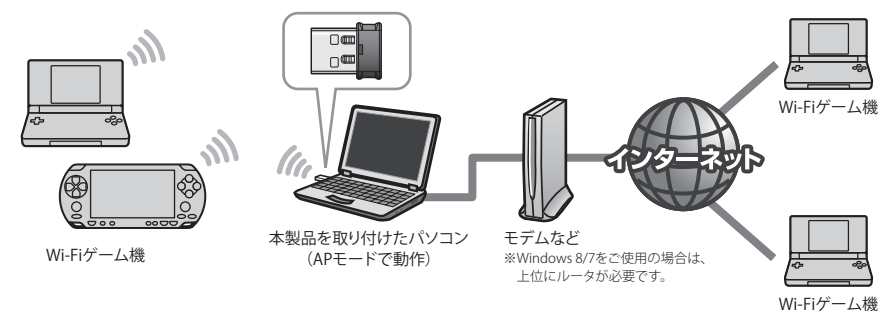
◆パソコンから無線親機に接続する無線子機として利用できます



◆スマートフォン、タブレットなどのWi-Fi機能を利用して、インターネットに接続可能です



◆3DS LLやPS VitaなどのWi-Fiゲーム機を利用して、インターネットに接続可能。ブラウジングやネットワーク対応ゲームが楽しめます



●他の対応機器との接続にも使用可能

設定を変更することで、いずれのモデルも、パソコンの無線子機として使用したり、Wi-Fi携帯電話やWi-Fiゲーム機との接続に使用したりできます。

※使用する環境によっては設定を変更すると、従来の対応機器との接続ができなくなります。

●IEEE802.11n技術で最大150Mbps（理論値）での接続が可能

IEEE802.11nに準拠し、最大150Mbps（理論値）という高速な無線通信が可能です。従来のIEEE802.11gの54Mbpsに比べ倍以上の転送速度を誇ります。伝送距離も長く、幅広い環境で安定した通信が可能です。IEEE802.11g/b規格しか搭載していないノートPCなどのパワーアップに最適です。

●ボタンひとつで無線LAN設定が完了する「WPS」に対応

セキュリティを含めたわずらわしい無線LAN設定をボタンひとつで済ませることができる「WPS」機能に対応しています。無線親機と本製品のWPSボタンを押すだけで設定が完了し、すぐに無線LANで接続できるようになります。

WPSは、Wi-Fiアライアンスが制定した世界標準の機能ですので、メーカーに依存することなく、安心してご使用いただけます。

※本製品は、本体がコンパクトなためハードウェアボタンは装備しておりません。「クライアントユーティリティ」画面にある[Start PBC]ボタンをクリックすることで設定できます。

※APモードは、WPS機能に対応しておりません。

●伝送方式にOFDM方式を採用

IEEE802.11n/11gは、伝送方式にOFDM (Orthogonal Frequency Division Multiplexing = 直交周波数分割多重) 方式を採用しています。この方式はデータを多重化して送信するマルチキャリア伝送方式で伝送特性の劣化を軽減することができ、安定したデータ伝送を可能にする伝送方式です。

※ IEEE802.11b (11Mbps) はDS-SS方式(直接拡散スペクトラム方式)を採用しています。

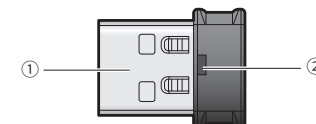
●各種無線セキュリティ機能に対応

より高度なセキュリティ方式であるWPA-PSK (TKIP) /WPA2-PSK (AES) に対応しています。WPAでは、暗号キーを一定時間ごとに自動的に変更しますので、外部からの不正解読が困難になっています。また、従来からあるWEP (128/64bit) にも対応しています。

●プロファイル機能を搭載

接続先ごとに無線LAN設定を変更しないで済むように、設定を保存できるプロファイル機能を搭載しています。会社や自宅と外出先での設定の切り替えはもちろん、認証方式の保存にも役立ちます。

4 各部の名称とはたらき



番号	名称	はたらき
①	USB コネクタ	パソコンのUSBポートに接続します。
②	Link/Activity ランプ(青色)	点灯：本製品の電波出力がオフの状態です。 点滅：無線親機とリンクしています(クライアントモード時)。 スマートフォンやタブレットなどとリンクしています(APモード時) 消灯：無線親機やスマートフォンなど接続相手とリンクできていません。

※本製品は、本体にWPS設定ボタンを装備していません。「クライアントユーティリティ」上にある[Start PBC]ボタンを使用します。

⚠ 重要なお注意

本製品を長時間利用すると高温になることがあります。長時間からだに触れていると低温やけどの恐れがあります。
また、取り外しの際は無理をせず、パソコンを終了し、しばらく経ってから取り外してください。

Chapter 2

導入編

まずはここをお読みください

ここでは、本製品を無線子機として使用するためにパソコンのUSBポートに取り付け、無線親機と接続するための導入手順を説明しています。

1 ソフトウェアのインストール

本製品をパソコンに接続し、無線子機として使用する場合のソフトウェアとドライバのインストール方法を説明します。付属のCD-ROMから必要なソフトウェアとドライバをインストールしてください。



注意

●本製品(無線アダプタ)をパソコンに接続しないでください

ドライバのインストールが完了するまで、本製品をパソコンに接続しないでください。ドライバをインストールする前に本製品を接続すると正常に動作しません。

本製品をまだ取り付けないでください！



●無線機能内蔵のパソコンをご使用の場合

内蔵の無線機能をオフにしてから作業を始めてください。

1 本製品を接続するパソコンを起動します。起動時は、ご使用のOSにあわせて、以下の権限を持つユーザーでログオンしてください。

- Windows 8/7/Vistaの場合→「管理者」権限を持つユーザーでログオン
- Windows XPの場合→「コンピュータの管理者」権限を持つユーザーでログオン



ユーザー権限は、「コントロールパネル」のユーザーアカウントで調べることができます。もし、ログオン中のアカウントに管理者権限がない場合は、管理者権限のあるアカウントで再ログオンしてください。現在のユーザーの権限の確認方法は、P97「補足1：Windowsのユーザー権限の確認方法」をお読みください。

2 付属のCD-ROMをパソコンのドライブに挿入します。



- ・自動的に「セットアップメニュー」が表示されます。

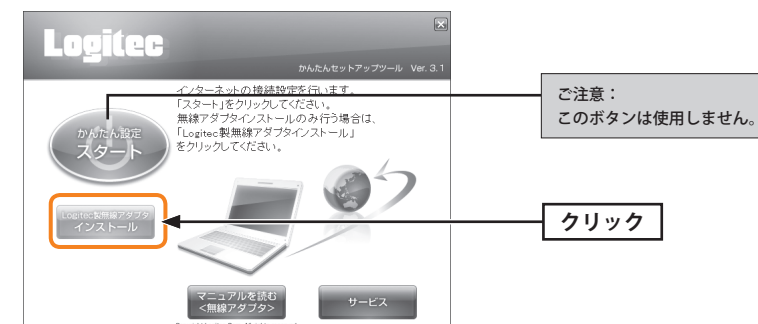


「セットアップメニュー」が表示されない場合

マイコンピュータなどでCD-ROMの内容を表示し、「menu (.exe)」アイコンをダブルクリックします。

- ・Windows Vistaで自動再生画面が表示された場合は、「menu.exeの実行」をクリックします。
- ・Windows 8/7またはWindows Vistaで「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、Windows 8/7なら「はい」を、Windows Vistaなら「続行」をクリックします。

3 [Logitech 製無線アダプタ インストール]をクリックします。



4 [LAN-W150NU2AB]を選択し、次へ進むをクリックします。



5 「インストールする」をクリックします。



6 ご使用の環境によって、確認画面が表示されることがあります。表示された画面にあわせて処理を実行します。

●以下の画面が表示されたとき (Windows 8)

「次へ進む」をクリックします。



画面にエラーメッセージが表示されていますが、「次へ進む」をクリックすると手順 7 へ進み、正常にインストールできます。

●〈ユーザーアカウント制御〉画面が表示されたとき (Windows 8/7/Vista)

Windows 8/7 の場合は「はい」を、Windows Vista の場合は「続行」をクリックします。

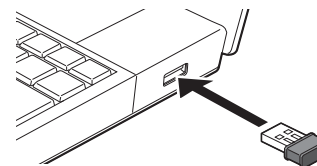
●〈Windows セキュリティ〉画面が表示されたとき (Windows 8/7/Vista)

「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックします。

●〈ソフトウェアのインストール〉画面が表示されたとき (Windows XP)

「続行」をクリックします。

7 「無線アダプタを接続してください。」と表示されますので、パソコンに無線アダプタを取り付けます。



・無線アダプタを差し込むと、自動的にセットアップが始まります。

8 ご使用のOSによって、このあとの手順が異なります。

■Windows 8 の場合

画面右下 (タスクバー) にクライアントユーティリティのアイコン  が表示されます。手順 9 へ進みます。

■Windows 7/Vista の場合



※画面の表示は「LAN-W150N/U2」になっています。

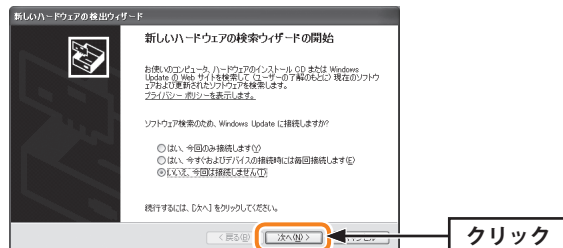
しばらくすると、自動的にドライバのインストールが完了します。手順 9 へ進みます。

■Windows XPの場合

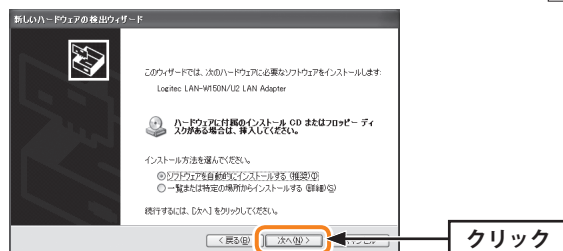
ウィザードによるインストール画面が表示された場合は、手順①～⑥を実行します。
表示されなかった場合は、手順⑨へ進みます。

① ②の画面が表示される前に、「Windowsロゴテスト」に関する画面(④と同じ)が表示された場合は、手順⑥の操作が終わるまで、そのままにしておきます。

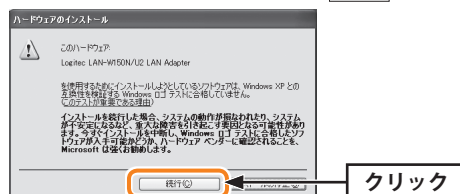
② 「いいえ、今回は接続しません」を選択し、「次へ」をクリックします。



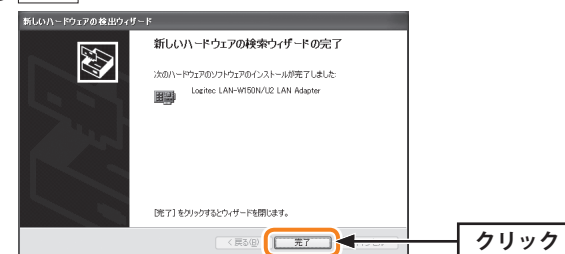
③ 「ソフトウェアを自動的にインストールする」を選択し、「次へ」をクリックします。



④ 以下の画面が表示された場合は、「続行」をクリックします。



⑤ 「完了」をクリックします。



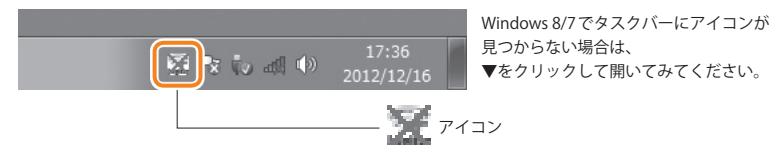
⑥ ①の「Windowsロゴテスト」に関する画面が表示されたままの場合は、「続行」をクリックします。ウィザードが終了しますので、手順⑨へ進みます。

⑨ インストールが完了します。「終了する」をクリックします。



・デスクトップ画面右下にインストール状態を示すメッセージが表示されます。

⑩ 正しくインストールされたことを確認します。

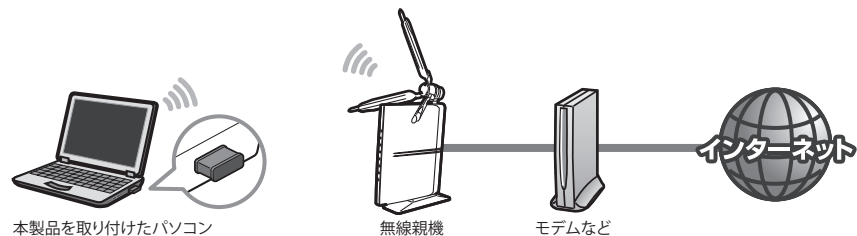


・デスクトップ画面右下のタスクトレイに「クライアントユーティリティ」のアイコンが表示されます。

パソコンによっては再起動を促されますが、アイコンが表示されることを確認するまでは再起動しないでください。

2 無線 LAN で接続する

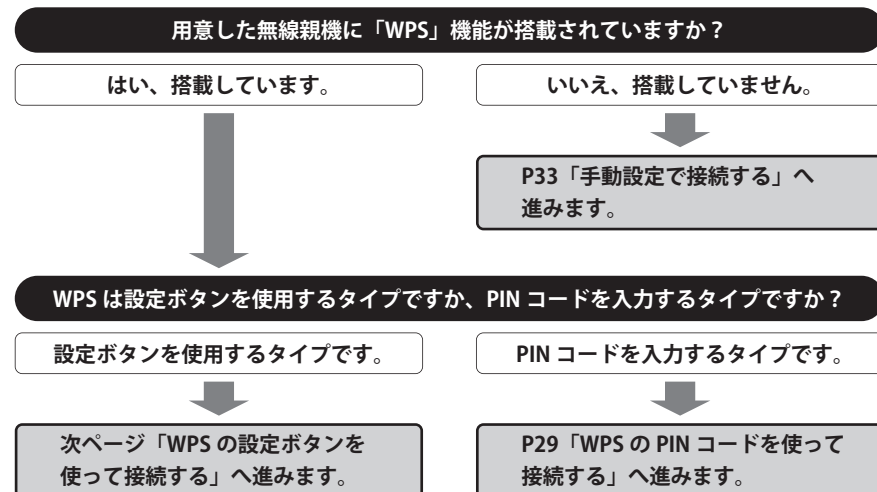
用意した無線親機を経由して、本製品からインターネットに接続できるようにします。これらの機器に「WPS」機能が搭載されているか、いないかで接続方法が異なります。



本製品を AP モードでご使用になる場合

本製品には、有線 LAN でインターネットに接続しているパソコンに本製品を取り付けることで、簡易的な無線親機として使用できる「AP モード」があります。Wi-Fi の無線機能を搭載したパソコン、スマートフォン、タブレット、家庭用ゲーム機などの無線接続に利用できます。こちらを利用する場合は、[P61「Chapter 4 AP モード編」](#)をお読みください。

無線 LAN への接続方法を決める



WPS の設定ボタンを使って接続する

WPS 機能のうち、本製品と無線親機に搭載された WPS 用の「設定ボタン」を使って、無線親機に接続します。

1 設定をはじめる前に、無線親機の WPS 用の「設定ボタン」の場所を確認しておきます。

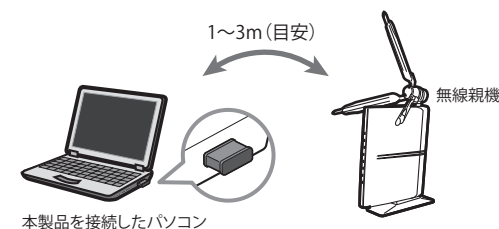
・無線親機の説明書をお読みください。



WPS 用の「設定ボタン」について

ご使用になる機器によっては、WPS ボタンがハードウェアボタンとしては装備されておらず、設定ユーティリティ上のソフトウェアボタンをクリックする製品があります。無線親機の説明書でご確認ください。

2 本製品を接続したパソコンを、インターネットに接続可能な状態である無線親機の近くに置きます。



3 [設定画面を開きます]をクリックします。

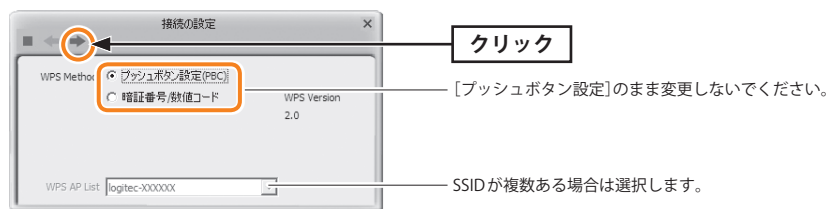


・デスクトップ画面の右下のタスクバーにあるクライアントユーティリティのアイコンを右クリックします。

- 4 (接続の設定) → [新しいWPS接続の設定] の順にクリックします。



- 5 をクリックし、次に進みます。

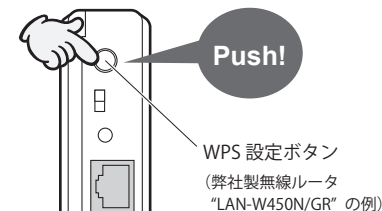


- [WPS AP List] に複数の無線親機がある場合は、▼ をクリックして接続先のSSIDを選択します。通信可能な無線親機 (SSID) が検出されます。

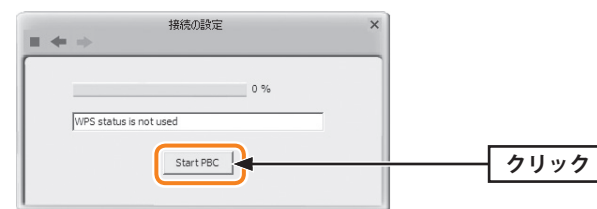
弊社製無線ルータをご使用の場合、“logitec-XXXXXX”またはlogitecXX (Xはランダムな英数字)、“logitecuser”のいずれかが表示されます。表示されるSSIDは、ご使用のモデルによって異なります。詳細については、無線親機(無線ルータ)のマニュアルをお読みください。

- 6 無線親機に搭載されたWPS用の「設定ボタン」を押します。

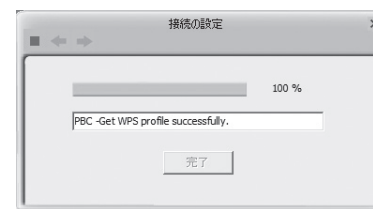
- 指定された時間だけ押します。



- 7 Start PBC をクリックします。接続できたら、完了 をクリックします。



- 8 正しく接続できると「PBC -Get WPS profile successfully.」と表示されます。



- 9 [接続設定リスト]が表示され、WPSで接続した無線親機のSSIDが表示されます。



- 自動的に設定内容がプロファイルに登録されます。
- メイン画面に接続ステータスが表示されるようになります。

10 メイン画面の をクリックするとクライアントユーティリティが閉じます。



接続がうまくいかないとき

100%にならない場合は、手順 **6** ～ **9** をくり返してください。

※弊社製無線ルータをご使用の場合、“logitec-XXXXXXまたはlogitecXX (Xはランダムな英数字)”、“logitecuser”のいずれかが表示されます。表示されるSSIDは、ご使用のモデルによって異なります。詳細については、無線親機(無線ルータ)のマニュアルをお読みください。

※何度かやり直しても接続できない場合は、P33「[手動設定で接続する \(WEP/WPA-PSK/WPA2-PSKを使う\)](#)」をお読みになり、手動で設定してください。

11 これで無線親機との接続作業は完了です。

●インターネットに接続できる環境でご使用の場合

インターネットに接続できる環境の場合、Webブラウザからインターネットに接続することで、正しく設定できているかを確認することができます。

●プロファイル機能について

本製品を接続したパソコンで、複数の無線親機に接続する場合は、無線LAN設定をプロファイルに保存することができます。プロファイル機能の詳しい説明は、P50「[4.接続設定リスト画面](#)」をお読みください。

WPSのPINコードを使って接続する

WPS機能のうち、本製品と無線親機に搭載されたWPS用の「PINコード」を使って、無線親機に接続します。

無線親機側に設定されたPINコードを無線アダプタに入力する方法と、無線アダプタ側に設定されたPINコードを無線親機に入力する方法があります。ここでは無線親機側に設定されたPINコードを本製品に入力する場合の操作の流れを説明します。



本製品のPINコードを無線親機に入力する場合

本製品の[接続設定モード]を「登録」に設定したうえで、生成された本製品側のPINコードを無線親機側に入力してください。

このとき無線親機側は、相手からのPINコードでWPS機能を実行するように設定しておいてください。



1 設定をはじめる前に、無線親機側の設定ユーティリティを表示するなどして、無線親機側のPINコードをメモします。

●無線親機側のPINコードをメモしてください。

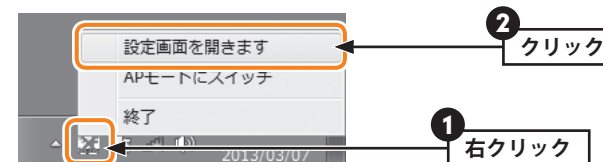
無線親機のPINコード

※ここにメモ書きした場合は、この説明書を他人に見られないように保管してください。

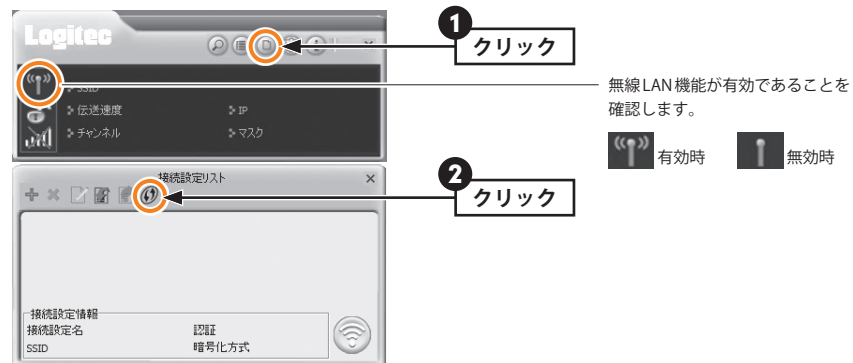
- 無線親機側のPINコードで無線子機を設定するように準備します。
- 無線親機側のPINコードの確認方法は、それぞれの説明書をお読みください。

2 本製品を接続したパソコンを、インターネットに接続可能な状態である無線親機の近くに置きます。

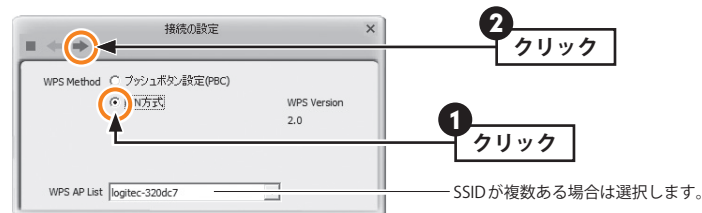
3 デスクトップ画面の右下の「タスクトレイ」にある「クライアントユーティリティ」のアイコン()を右クリックし、[設定画面を開きます]をクリックします。



- 4 (接続の設定) → [新しいWPS接続の設定] の順にクリックします。

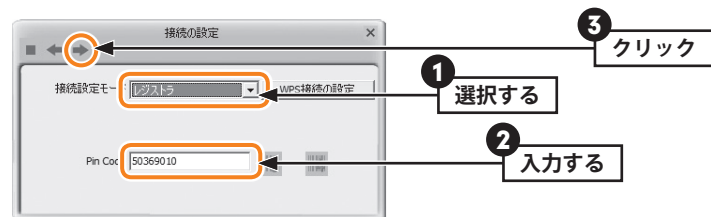


- 5 [PIN方式] を選択し、➡ をクリックします。



弊社製無線ルータをご使用の場合、“logitech-XXXXXX”またはlogitechXX (Xはランダムな英数字)、“logitechuser”のいずれかが表示されます。表示されるSSIDは、ご使用のモデルによって異なります。

- 6 [レジストラ]を選択します。[Pin Code]に、メモした無線親機側のPINコードを入力し、➡ をクリックします。



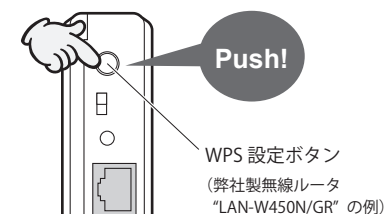
WPS接続の設定 について

本製品側で、SSID、暗号化設定をする場合は、PINコードを入力したあと、[WPS接続の設定] をクリックします。

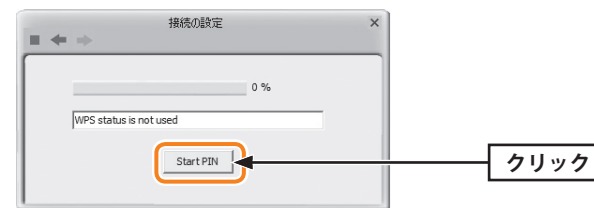
➡ をクリックするたびに「SSID、暗号化方式の設定画面」→「暗号キー (パスワード) の設定画面」→「手順 8 の画面」へと移動します。手順 8 の画面を表示した状態で、手順 7、8 の操作をします。暗号化設定の項目については、P35をお読みください。

- 7 無線親機に搭載されたWPS用の「設定ボタン」を押します。

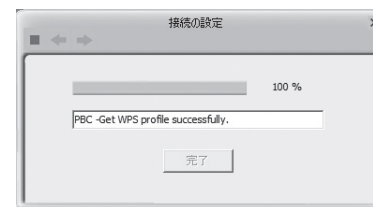
・指定された時間だけ押します。



- 8 Start PIN をクリックします。



- 9 正しく接続できると「PBC -Get WPS profile successfully.」と表示されます。

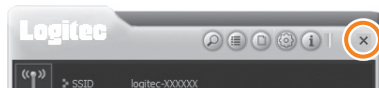


10 [接続設定リスト]が表示され、WPSで接続した無線親機のSSIDが表示されます。



- 自動的に設定内容がプロファイルに登録されます。
- メイン画面に接続ステータスが表示されるようになります。

11 メイン画面の [X] をクリックするとクライアントユーティリティが閉じます。



接続がうまくいかないとき

100%にならない場合は、手順 **6** ～ **10** をくり返してください。

※弊社製無線ルータをご使用の場合、“logitec-XXXXXX”またはlogitecXX (Xはランダムな英数字)、“logitecuser”のいずれかが表示されます。表示されるSSIDは、ご使用のモデルによって異なります。

12 これで無線親機との接続作業は完了です。

●インターネットに接続できる環境でご使用の場合

インターネットに接続できる環境の場合、Web ブラウザからインターネットに接続することで、正しく設定できているかを確認することができます。

●プロファイル機能について

本製品を接続したパソコンで、複数の無線親機に接続する場合は、無線LAN設定をプロファイルに保存することができます。プロファイル機能の詳しい説明は、P50「4.接続設定リスト 画面」をお読みください。

手動設定で接続する (WEP/WPA-PSK/WPA2-PSKを使う)

WPS 機能がない無線LAN環境では、無線親機に設定された無線LANの設定内容を本製品に設定します。ここでは、セキュリティ機能として、WEP、WPA-PSK、WPA2-PSKのいずれかを設定する手順も含めて説明しています。

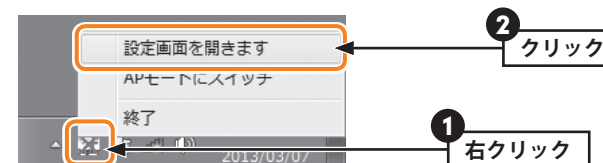
1 接続作業をはじめる前に、無線親機に設定されている無線LAN設定の項目を確認してメモします。

※ここにメモ書きした場合は、この説明書を他人に見られないように保管してください。

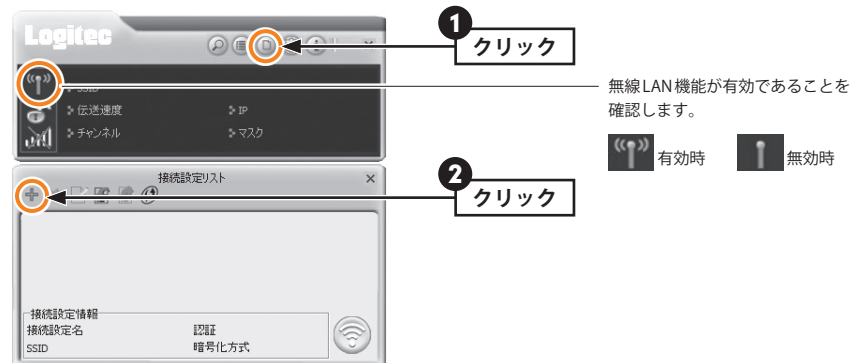
設定名	項目名	無線親機の設定値
設定値A	SSID	
設定値B	認証方式	☐ オープンシステム ☐ シェアード ☐ WPA ☐ WPA-PSK ☐ WPA2 ☐ WPA2-PSK ☐ 802.1X
設定値C	暗号化方式	☐ 未使用(データを暗号化しない) ☐ WEP ☐ TKIP ☐ AES
設定値D	WPA-PSKキー、WEPの設定各種、WPAほか	WPA2-PSKの場合： WPA-PSKキー(パスフレーズ)＝ WEPの場合： 送信するキー(キー番号)＝キー1 キー2 キー3 キー4 キーの形式＝ASCII 16進数 WEPキー＝ WPA・WPA2・802.1Xの場合： ネットワーク管理者に情報をご確認ください。

2 本製品を接続したパソコンを、インターネットに接続可能な状態である無線親機の近くに置きます。

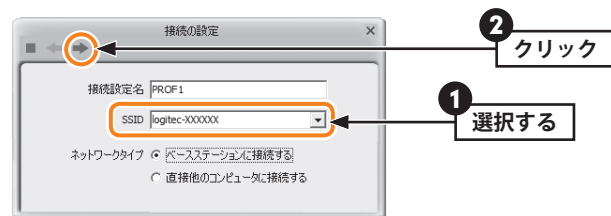
3 デスクトップ画面の右下の「タスクトレイ」にある「クライアントユーティリティ」のアイコン([X])を右クリックし、[設定画面を開きます]をクリックします。



4 (接続の設定) → (追加) の順にクリックします。



5 [SSID] で接続したい無線親機のSSID (設定値A) を選択し、[OK] をクリックします。



※画面のSSIDは例です。実際にご使用の環境で表示される内容とは異なります。

• 複数のSSIDがある場合、「SSID」の▼をクリックすると、リストが表示されます。



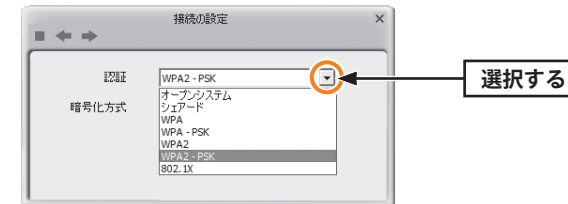
SSIDが見つからない場合

「ブロードキャストSSID」「ステルスSSID」など、SSID名を設定ツールのリストに表示させない機能を使用している場合は、リストにSSID名が表示されません。この場合は[SSID]に、手順 1 でメモしたSSIDを手動で入力します。

※ SSIDは大文字と小文字が区別されます。

6 無線親機の設定に応じて暗号化設定をします。セキュリティ機能を設定していない場合は、手順 11 へ進みます。

7 「認証」の▼をクリックして、認証方式を選択します。



• あらかじめメモした「設定値B」を参考にして選択します。

8 「暗号化方式」の▼をクリックして、方式を選択します。選択したら、[OK] をクリックします。



• あらかじめメモした「設定値C」を参考にして選択します。

9 選択した認証・暗号化方式に応じて設定し、[OK] をクリックします。

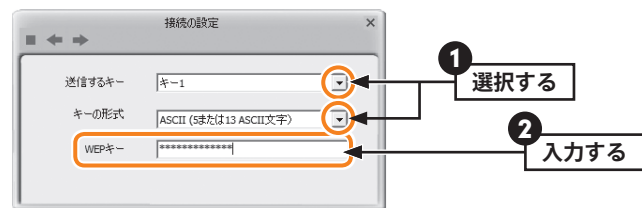
●WPA-PSK、WPA2-PSKの場合

「WPA-PSKキー」に、あらかじめメモした「設定値D」のパスフレーズを入力します。



●WEPを選択した場合

あらかじめメモした「設定値D」の内容を設定します。



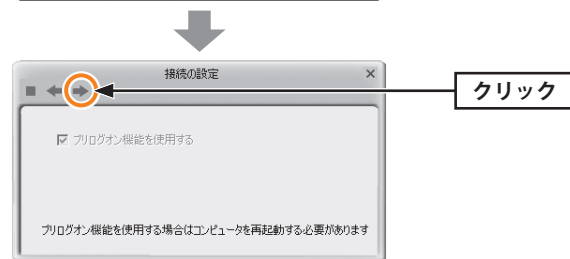
- ・「送信するキー」で、使用する暗号キー番号(キー1～キー4)を選択します。
- ・「キーの形式」で、WEPキーに使用する暗号キーの形式を選択します。
- ・「WEPキー」で、暗号キーを入力します。



802.1X 認証をご使用の場合

本製品は、高度な認証システムである802.1X認証を使用することができます。802.1X認証を使用する場合は、ネットワーク管理者に設定を依頼するか、ネットワーク管理者の指示に従って、表示される項目を設定してください。設定が終われば、手順 **10** へ進みます。

- 10** セキュリティ設定が終われば、 をクリックします。「プリログオン機能」の設定画面が表示されますが、そのまま  をクリックします。



- 11** 登録したプロファイルを選択し、 をクリックします。



- 12** 無線親機と接続し、メイン画面にステータスが表示されます。



- ・接続設定リストとメイン画面の  をクリックして画面を閉じます。

- 13** これで無線親機との接続作業は完了です。P43「3.インターネットに接続する」へ進みます。

アドホック・モードで接続する

無線親機を使わずに、無線子機同士で直接通信するアドホック (Ad hoc) モードでの接続方法について説明します。アドホック・モードの設定を始める前に、本製品のドライバおよびクライアントユーティリティのインストールを完了しておいてください。なお、アドホック・モードでは、同時に使用できる無線子機は2台です。また、WPS機能は利用できません。
※ Windows 8/8.1 は、adhocに対応しておりません。

●アドホック・モードを設定するには

アドホック・モードで使用する場合は、必ずいずれかの無線子機について手動でSSIDやセキュリティ設定をおこなってください。

設定した1台の無線子機を起動し、他の無線子機は、クライアントユーティリティの〈ワイヤレスネットワーク〉画面からSSIDを選択することで、WPS-PSKキーやWEPキーの設定を手動で入力するだけで済ませることができます。

●接続作業をはじめる前に、アドホック・モードで使用する無線LAN設定の項目を決めます。

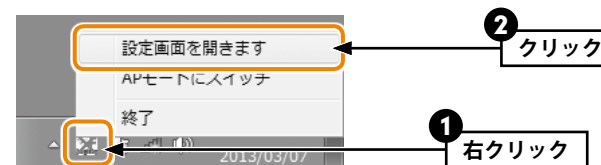
※ここにメモ書きした場合は、この説明書を他人に見られないように保管してください。

設定名	項目	無線親機の設定値
設定値A	SSID	
設定値B	チャンネル	Ch ※アドホック・モードでは、自動選択できません。
設定値C	認証方式	☐ オープンシステム ☐ シェアード ☐ WPA2-PSK
設定値D	暗号化方式	☐ 未使用 (データを暗号化しない) ☐ WEP ☐ AES
設定値E	WPA-PSKキー または WEPの設定各種	WPA2-PSKの場合： WPA-PSKキー (パスフレーズ) = WEPの場合： 送信するキー (キー番号) = キー1 キー2 キー3 キー4 キーの形式 = ASCII 16進数 WEPキー =

1台目のパソコンの設定方法

- 1 アドホック・モードで接続する本製品を接続したパソコンのうち1台を用意し、パソコンを起動します。

- 2 デスクトップ画面右下の「タスクトレイ」にある「クライアントユーティリティ」のアイコン()を右クリックし、[設定画面を開きます]をクリックします。



- 3 (接続の設定)をクリックします。



- 4 + をクリックします。

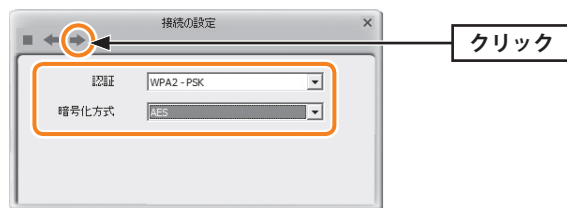


- 5 基本的な項目を設定します。



- 1 接続設定名を任意で付けることができます。初期値は「PROF」+「数字」です。
- 2 SSID (設定値A)を手動で入力します。
- 3 [ネットワークタイプ]として、[直接他のコンピュータに接続する]を選択します。
- 4 使用するチャンネル(設定値B)を選択します。
- 5 設定が終われば、  をクリックします。

- 6** 認証方式と暗号化方式(設定値C・D)を選択し、をクリックします。

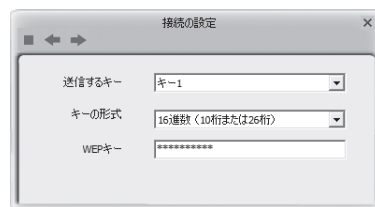


- 7** 暗号化機能を設定し、をクリックします。画面は選択した認証・暗号化方式により異なります。

◆WPA2-PSKの例



◆WEPの例



- それぞれの認証・暗号化方式(設定値E)にあわせて設定します。

- 8** リストに新しいプロファイルが登録されます。



- 9** 2台目のパソコンの無線LAN設定をします。P41「2台目のパソコンの設定方法」へ進みます。

2台目のパソコンの設定方法

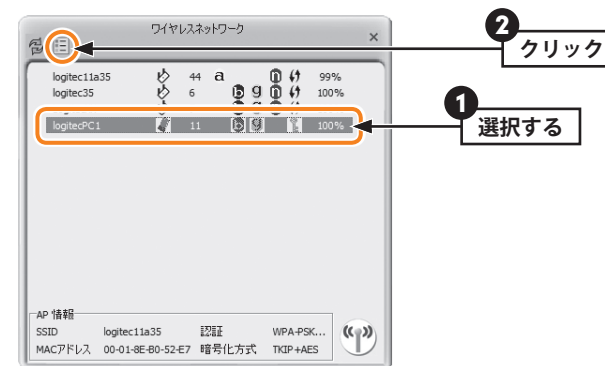
1台目を設定したのち、2台目のアドホック・モードのパソコンを設定する方法を説明します。

- 1** 設定済みのパソコンを近くに置いて、未設定のパソコンを起動します。

- 2** クライアントユーティリティを起動し、をクリックします。



- 3** リストから1台目のパソコンで設定したSSIDを選択し、をクリックします。

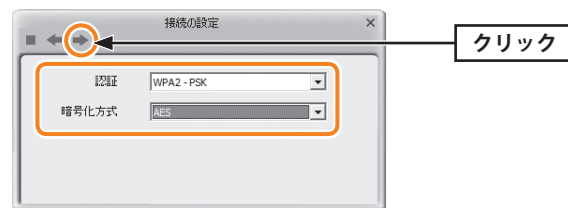


- 4** 〈接続の設定〉画面が表示されます。



- SSIDなどのP38の表の設定値A～Dまでは自動的に設定されます。
- をクリックして、手順**5**へ進みます。

5 ➡ をクリックします。

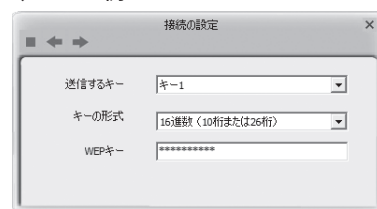


6 暗号化機能を設定し、➡ をクリックします。画面は選択した認証・暗号化方式により異なります。

◆ WPA2-PSK の例



◆ WEP の例



- それぞれの認証・暗号化方式 (設定値E) にあわせて設定します。

7 リストに新しいプロファイルが登録されます。



-  をクリックすると相手のパソコンの無線子機に接続します。

3 インターネットに接続する

無線 LAN がつながれば、無線 LAN を経由してインターネットに接続できるかテストします。

1 Internet Explorer などの Web ブラウザを起動します。

2 Web ブラウザからお好みのホームページに接続し、正常に表示されることを確認します。



ロジテック Web サイト <http://www.logitech.co.jp/>

Chapter 3

.....

詳細設定 編 (クライアントモード)

(ソフトウェア) APモードの詳細設定については、Chapter 4
「APモード編」をお読みください。

ユーティリティの画面構成

本製品のユーティリティ「クライアントユーティリティ」の画面構成を説明します。基本となるメイン画面のほか、設定や確認のための複数の画面が用意されており、必要なときに表示することができます。

クライアントユーティリティを表示する

- 1 デスクトップ画面の右下の「タスクトレイ」にある「クライアントユーティリティ」のアイコン() を右クリックし、[設定画面を開きます]をクリックします。



 本製品がパソコンに接続されていない状態では、クライアントユーティリティを表示することはできません。

- 2 メイン画面が表示されます。



画面の構成

おもな画面の構成と概要を説明します。

メイン画面

クライアントユーティリティを起動すると常に表示される画面です。接続状況など基本的なステータスを表示します。また、ツールバーのボタンをクリックすることで、各種画面を表示することができます。

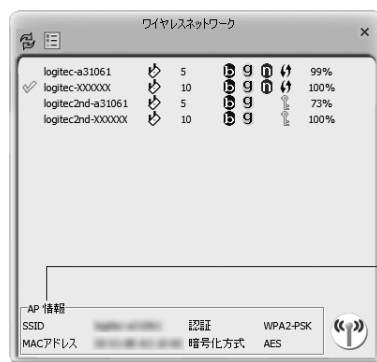


	ワイヤレスネットワーク (→P48)	本製品が電波の届く範囲にある無線親機のSSIDをはじめとするステータスをリストで表示します。リストの無線親機を選択することで、その親機との接続設定が可能です。
	接続情報 (→P49)	接続中の無線親機との詳しい接続情報を表示します。基本情報、信号強度の詳細、パケット情報などです。
	接続設定リスト (→P50)	保存されているプロファイルを一覧で表示します。この画面を使って、プロファイルの追加/削除/編集/保存/読み込みが可能のほか、WPS機能を使った設定が可能です。
	詳細 (→P59)	使用する無線周波数帯を選択することができます。
	情報 (→P60)	本ソフトウェアのバージョン情報などを表示します。ソフトウェアのアップデートやサポートへのお問い合わせなどで必要になることがあります。

2 ワイヤレスネットワーク 画面

本製品が電波の届く範囲にある無線親機のSSIDをはじめとするステータスをリストで表示します。リストの無線親機を選択することで、その親機との接続設定が可能です。

◆ワイヤレスネットワーク 画面



リストで選択中の無線親機の情報を表示します。
SSID、MACアドレス、認証方式、暗号化方式の
4つです。

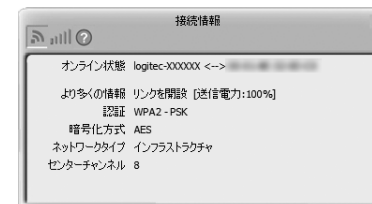
	再スキャン	リストの内容を最新の情報に更新します。
	接続設定を追加	リストで選択した無線親機との接続設定をプロファイルに追加します。〈接続の設定〉画面が表示されますので、新しいプロファイルを作成します。手順については、P51「新しくプロファイルを追加する」をお読みください。
	接続	リストで選択した無線親機に接続します。無線親機にセキュリティ設定がされている場合、〈接続の設定〉画面のセキュリティ設定の項目が表示されますので、無線親機に設定されたセキュリティ設定を反映し、ウィザードを進めてください。〈接続の設定〉画面については、P51「新しくプロファイルを追加する」をお読みください。

〈接続の設定〉画面が表示されている状態では、リストの無線親機を選択したり、〈ワイヤレスネットワーク〉画面を閉じたりすることはできません。これらの操作をする場合は、〈接続の設定〉画面を閉じてください。

3 接続情報 画面

接続中の無線親機との詳しい接続情報を表示します。基本情報、信号強度の詳細、パケット情報などです。

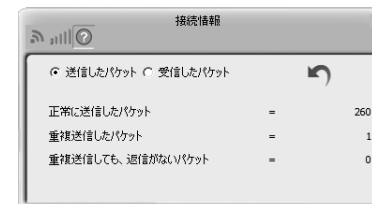
◆オンライン状態



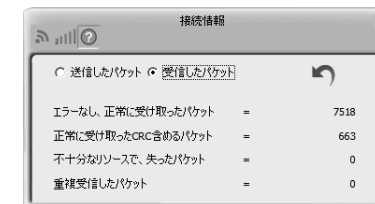
◆転送効率



◆統計(送信したパケット)



◆統計(受信したパケット)



	オンライン状態	現在の接続状況を表示します。 接続中のSSID、無線親機のMACアドレス、送信の電力状況、認証方式、暗号化方式などが表示されます。
	転送効率	信号強度や速度などに関する状況を表示します。 接続中の電波の品質、信号強度、送受信の速度および転送効率が表示されます。
	統計	送信または受信したパケット数を表示します。「送信したパケット」「受信したパケット」選択したほうのパケット情報が表示されます。 をクリックすると情報がリセットされます。

4 接続設定リスト 画面

保存されているプロフィールを一覧で表示します。本製品は、プロフィール名を付けることで、複数の無線LAN環境 (SSIDやセキュリティ設定など) を保存することができます。この画面を使うことで、プロフィールの追加/削除/編集/保存/読み込みが可能のほか、ボタンひとつで無線LAN接続を可能にする「WPS機能」を使った設定もできます。

◆〈接続設定リスト〉画面



	プロフィールの追加 (→P51)	新しいプロフィールを手動で作成します。
	プロフィールの削除 (→P54)	登録済みのプロフィールを削除します。
	プロフィールの編集 (→P55)	登録済みのプロフィールを修正したり編集することができます。
	プロフィールの読込 (→P57)	保存したプロフィールのファイル (.prof) を、クライアントユーティリティのプロフィールとして読み込みます。
	プロフィールの保存 (→P56)	登録済みのプロフィールをファイルとして保存することができます。
	WPS接続の設定 (→P58)	WPS機能を持った無線親機と本製品をボタンを押すだけで簡単に設定します。

新しくプロフィールを追加する



●電波の届く範囲にある無線親機のプロファイルを作成する場合

〈ワイヤレスネットワーク〉画面 (→P48) に表示されている無線親機に接続するためのプロフィールを作成する場合は、〈ワイヤレスネットワーク〉画面のリストから接続設定を追加したほうが、SSID、認証方式、暗号化方式などが自動的に入力されて便利です。

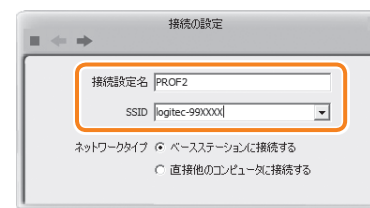
●アドホック・モードを使用する場合

P38「アドホック・モードで接続する」をお読みください。

1 〈接続設定リスト〉画面で をクリックします。



2 基本的な項目を設定します。



- 1 接続設定名を任意で付けることができます。初期値は「PROF」＋「数字」です。
- 2 SSIDを入力します。電波の届く範囲に無線親機がある場合は、 をクリックしてリストから選択することもできます。
- 3 [ネットワークタイプ]を選択します。
- 4 設定が終われば、 をクリックします。

ベースステーションに接続する	インフラストラクチャ・モードです。無線親機と接続します。
直接他のコンピュータに接続する	アドホック・モードです。こちらを選択した場合、このあとの手順は、P38「アドホック・モードで接続する」の手順 6 以降をお読みください。

3 認証方式と暗号化方式を選択し、➡をクリックします。

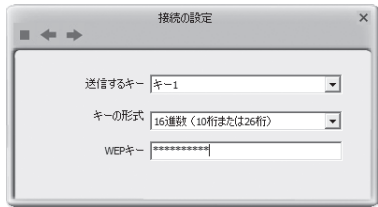


4 暗号化機能を設定し、➡をクリックします。画面は選択した認証・暗号化方式により異なります。

◆WPA2-PSKの例



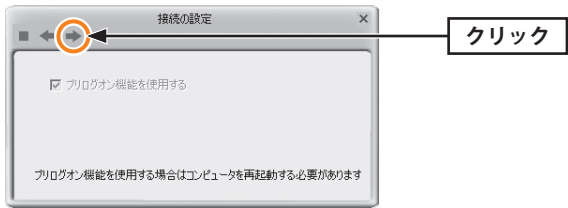
◆WEPの例



•それぞれの認証・暗号化方式にあわせて設定します。

WPA2-PSK WPA-PSK	パスフレーズを入力します。
WEP	いずれの項目も無線親機と同じ設定にします。 送信するキー：キー1～キー4 キーの形式：16進数またはASCII WEPキー：キーの形式にあわせた内容を入力
WPA2、WPA、802.1X	ネットワーク管理者が設定するか、ネットワーク管理者からの指示内容を設定します。

5 ➡をクリックします。



6 リストに新しいプロファイルが登録されます。



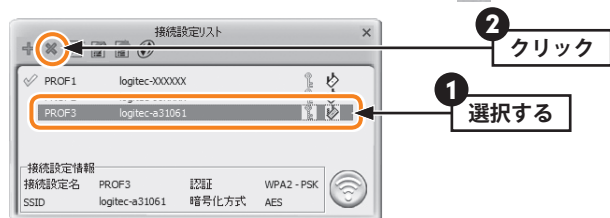
登録したプロファイルに接続するには
使用したいプロファイルをリストから選択し、📶をクリックします。
正常に接続できるとプロファイル名の前に✔マークが表示されます。
✖の場合は、正常に接続できていません。

プロファイルの削除と編集

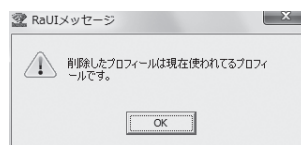
プロファイルの削除

登録したプロファイルを削除します。

- ① リストから削除したいプロファイルを選択し、 をクリックします。



 無線親機と接続中のプロファイルを削除しようとした場合は、現在使われているプロファイルを削除してよいか確認の画面が表示されますので、**OK** をクリックします。中止するときは、**X** をクリックします。



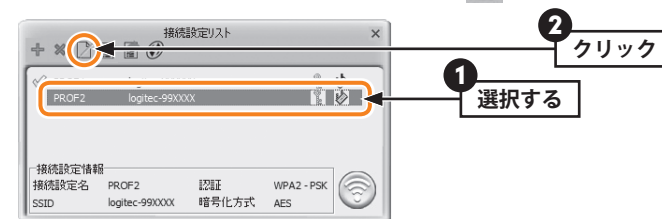
- ② リストからプロファイルが削除されます。



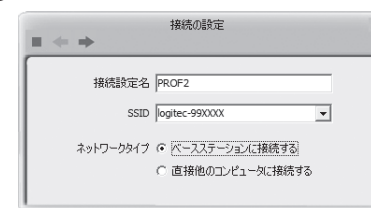
プロファイルの編集

登録したプロファイルの内容を修正します。

- ① リストから編集したいプロファイルを選択し、 をクリックします。



- ② プロファイル作成時と同じ画面が表示されます。



- ③  をクリックすると、[接続設定名/SSIDの設定]→[認証/暗号化方式の設定]→[暗号設定]の順に画面が切り替わります。設定内容を修正します。



- ④ [暗号設定]が終わると、リスト画面に戻ります。

プロファイルの保存と読み込み

設定したプロファイルをバックアップファイルとして保存できます。バックアップしたプロファイルの設定を読み込むこともできます。

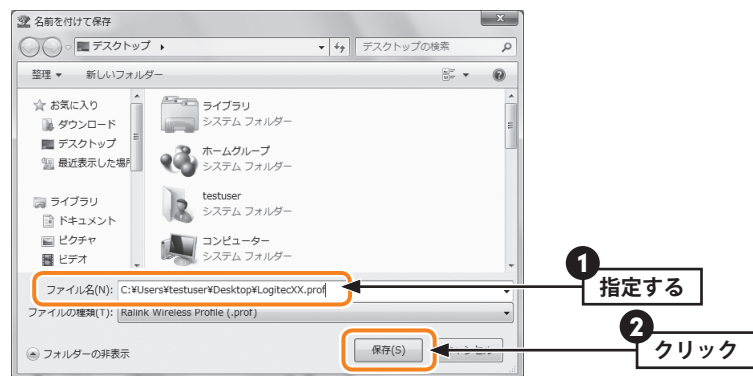
複数の本製品が同じ無線親機に接続する場合、1台目に作成したプロファイルをファイルとして保存することで、2台目以降はプロファイルの読み込みだけで設定を完了できます。また、万一のときのための設定のバックアップとしても利用できます。

プロファイルの保存

- ① 保存したいプロファイルを選択し、 をクリックします。



- ② 〈名前を付けて保存〉画面が表示されますので、ファイル名と保存先を指定し、**保存** をクリックします。



- ・ファイル名は自動的に「プロファイル名+prof」が初期値として表示されています。

- ③ 保存先に「(ファイル名).prof」のファイルが保存されます。

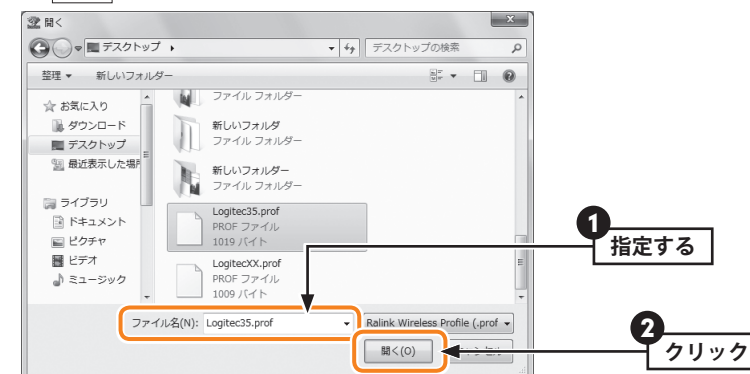
プロファイルの読み込み

保存したプロファイルをクライアントユーティリティのプロファイルとして読み込ませます。

- ①  をクリックします。



- ② 〈開く〉画面で、読み込みたいプロファイルのファイル「(ファイル名).prof」を選択し、**開く** をクリックします。



- ③ リストに読み込んだプロファイルが表示されます。



WPS接続

「WPS」は、WPS機能を搭載する無線LAN製品同士を接続する場合に、WPS機能を使ってセキュリティを含む無線LAN設定を自動的におこなって、すぐに使えるようにする機能です。WPS機能には、無線親機と無線子機のそれぞれに装備されたWPS用の「設定ボタン」を押すタイプと、「PINコード」と呼ばれる8桁の数字を入力するタイプの2種類があります。面倒なセキュリティ機能も含めて自動的に設定できます。



WPSの設定方法について

P24「2.無線LANで接続する」の「WPSの設定ボタンを使って接続する」および「WPSのPINコードを使って接続する」を参考に設定してください。

5 詳細画面

使用する無線周波数帯とリージョンコードを確認できます。本製品は、2.4GHz帯のみに対応しているため、設定の変更はできません。

◆〈詳細〉画面



6 情報 画面

本ソフトウェアのバージョン情報などを表示します。ソフトウェアのアップデートやサポートへのお問い合わせなどで必要になることがあります。

◆〈情報〉画面



バージョン	クライアントユーティリティのバージョン、本製品のドライバソフトのバージョンなどを表示します。
MAC アドレス	本製品のMACアドレスを表示します。
Logitech ロゴ	インターネットに接続できる環境でロゴをクリックすると、ロジテック・ホームページを表示します。

Chapter 4

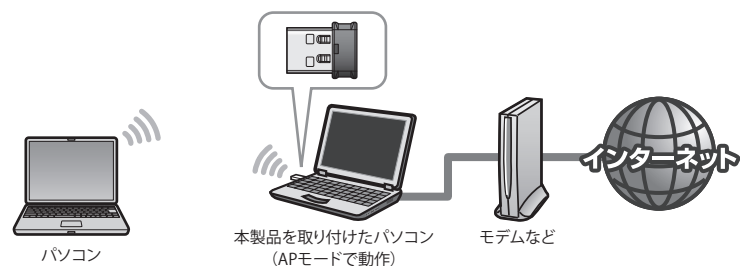
.....

APモード 編

1 APモードについて

本製品は、無線子機として利用するクライアントモード以外に、(ソフトウェア) APモードを搭載しています。APモードは、有線LANでインターネットに接続しているパソコンに本製品を取り付けることで、簡易的な無線親機として使用できる機能です。Wi-Fiの無線機能を搭載したパソコン、スマートフォン、タブレット、家庭用ゲーム機などを無線接続に利用できます。

■Wi-Fi機能を搭載したパソコンの無線親機として利用する



※本製品のAPモードは、複数台のパソコンからのアクセスや高速でのデータ転送には適していません。

利用するには…

- ① P64 「2.APモードに切り替える」をお読みになり、APモードに切り替えます。
- ② Wi-Fi機能を搭載したパソコンまたは無線子機の説明書をお読みになり、本製品にアクセスできるよう設定します。

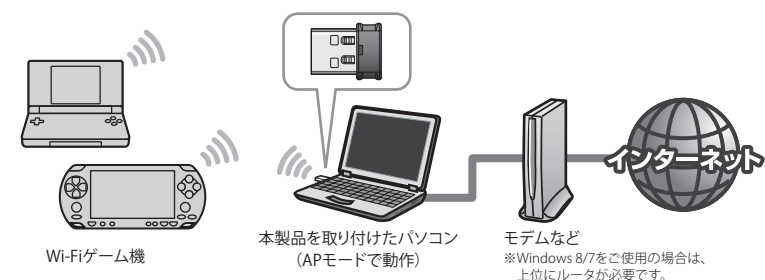
■ホテルなどの有線LANポートにパソコンを接続し、スマートフォンやタブレットの無線親機として利用する



利用するには…

- ① P64 「2.APモードに切り替える」をお読みになり、APモードに切り替えます。
- ② P68 「3.スマートフォン・タブレットの設定例」を参考にして、スマートフォンやタブレットから本製品にアクセスします。

■Wi-Fi機能を搭載した3DSやPS Vitaなどの家庭用ゲーム機の無線親機として利用する



利用するには…

- ① P64 「2.APモードに切り替える」をお読みになり、APモードに切り替えます。
- ② P74 「4.Wi-Fiゲーム機の設定例」を参考にして、3DSやPS Vitaから本製品にアクセスします。

2 APモードに切り替える

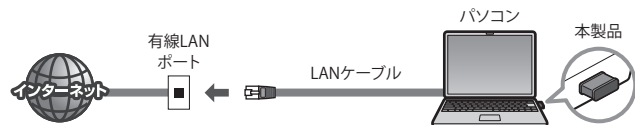
クライアントモードで動作中の本製品を、APモードに切り替えます。下記の手順で設定したSSIDとパスワードを必要に応じてメモしてください。

SSID	
パスワード	

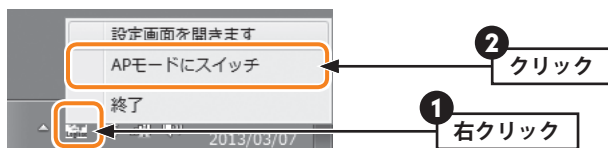
※ここにメモした場合は、第三者に見られないように注意してください。

 本製品のAPモードは、パソコンとの接続や、複数のモバイル端末との同時接続には向いていません。

1 本製品を取り付けたパソコンを有線LAN環境と接続します。

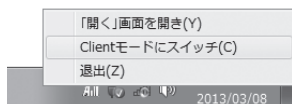


2 画面右下の アイコンを右クリックし、[APモードにスイッチ]を選択します。



 ●「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合
Windows 8/7 の場合は ☐ はい を、Windows Vista の場合は ☐ 続行 をクリックします。

●以下のメニューが表示されてる場合
すでにAPモードで動作しています。新たにSSID等を設定する場合は、[画面を開く]を選択し、手順 **4** へ進みます。



3 「ICSの有効化」画面が表示され、ユーティリティが起動します。

ICSを有効にしています

• 何らかのメッセージが表示された場合は、メッセージの内容にあわせて対応します。

※詳しくは弊社の製品Q&Aページをご覧ください。
http://qa.elecom.co.jp/faq_detail.html?id=4052&category=&page=1

4 をクリックします。



5 [SSID]をメモして、 をクリックします。



• SSIDは初期値が表示されています。変更することもできます。
• 他の項目は変更する必要はありません。

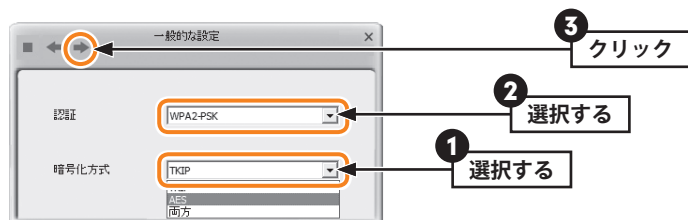
6 「リージョンコードの選択」など画面が表示されますので、 をクリックします。

• 通常は変更する必要はありません。

7 ①[認証]の▼をクリックし、認証方式を選択します。

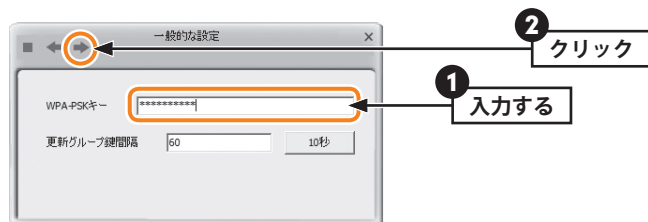
②[暗号化方式]の▼をクリックし、暗号化方式を選択します。

③選択したら▶をクリックします。



• 通常は、WPA2-PSK・AESを推奨します。

8 パスワード(暗号キー)などを入力・設定し、▶をクリックします。



- 半角英数字8文字～63文字でパスワード(暗号キー)を設定します。他の項目は変更する必要はありません。
- 設定したパスワードはメモしておきます。



WEPを設定する場合の項目の詳細は、P33「[手動設定で接続する\(WEP/WPA-PSK/WPA2-PSKを使う\)](#)」を参照してください。

9 このあとはご使用の目的にあわせて、該当のページへ進みます。

◆Wi-Fi機能を搭載したパソコンの無線親機として利用する

Wi-Fi機能を搭載したパソコンまたは無線子機の説明書をお読みになり、本製品にアクセスできるよう設定します。

◆ホテルなどの有線LANポートにパソコンを接続し、スマートフォンやタブレットの無線親機として利用する

P68「[3.スマートフォン・タブレットの設定例](#)」を参考にして、スマートフォンやタブレットから本製品にアクセスします。

◆Wi-Fi機能を搭載した3DSやPS Vitaなどの家庭用ゲーム機の無線親機として利用する

P74「[4.Wi-Fiゲーム機の設定例](#)」を参考にして、3DSやPS Vitaから本製品にアクセスします。

3 スマートフォン・タブレットの設定例

APモードで動作する本製品に、スマートフォンやタブレットからWi-Fi接続でアクセスできるようにします。ここでは、iOS搭載機種とAndroid搭載機種に分けて説明します。



電波干渉を避けるため、Bluetooth機能をオフにすることを推奨します。

iOS搭載機器での設定例 (iPhone/iPad/iPod touch)

1 メインメニューの[設定]をタップ(選択)します。



※画面はiPhone 4の例です。

2 設定メニューの[Wi-Fi]をタップします。



3 リストに表示された「LogitecAP-XX」をタップします。



※P65手順 5 でメモしたSSIDです。XXは任意の英数字です。

Wi-Fiがオフのときは、タップしてオンに変更します。

- SSIDを変更している場合は、変更したSSIDをタップします。

4 P66手順 8 で設定したパスワードを入力し、[Join]をタップします。



- iOS搭載機器で英字を大文字で入力するには、毎回 を押してから、アルファベットを選択する必要があります。

5 正しく接続できたか確認します。



✓マークが表示されていることを確認します。



●無線接続に失敗した場合

手順 **4** で誤ったパスワードを入力した可能性があります。

次の手順で接続をやり直してください。

- ① リストに表示された「LogitechAP-XX」の右端にある[>]をタップします。
- ② 「このネットワーク設定を削除」をタップします。
- ③ 手順 **3** からやり直します。

●「ネットワーク“logitechXX”に接続できません。」と表示された場合



- ・iPhone/iPad/iPod touchの電源をいったん切り、再び入れてからやり直してください。
- ・Bluetooth機能がオンの場合、電波干渉によりWi-Fi接続ができないことがあります。Bluetooth機能をオフにしてからやり直してください。

6 これでiPhone等から本製品への接続作業は完了です。

Android搭載機器での設定例



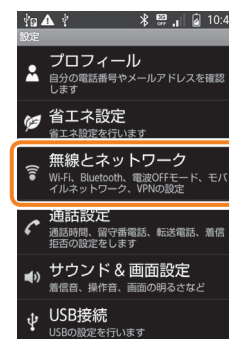
- ・対応機種/OSの詳細はロジテック ホームページをご覧ください。
- ・画面は例です。お使いの機種により画面の内容が異なる場合がありますが、操作方法は同様です。詳しくは各社スマートフォンの説明書をご確認ください。

1 [メニュー] ボタンまたは[アプリ] ボタンから[設定] ボタンを呼び出します。

2 [設定] をタップします。



3 [無線とネットワーク] をタップします。



4 [Wi-Fi設定]をタップします。**5** 一覧から「LogitecAP-XX」をタップします。

※ P65 手順 5 でメモした SSID です。XX は任意の英数字です。

- 電波の届く範囲に複数の無線子機があった場合、すべてが一覧に表示されます。本製品の SSID 「LogitecAP-XX」を選択し、接続してください。

6 P66 手順 8 で設定したパスワードを入力し、[接続]をタップします。**7** 画面上部に が表示されていることを確認します。**●無線接続に失敗した場合**

手順 6 で誤ったパスワードを入力した可能性があります。

次の手順で接続をやり直してください。

- リストに表示された「LogitecAP-XX」をタップし、パスワード入力画面を表示します。
- パスワードを再入力し、[接続]をタップします。

●ネットワークに接続できない場合

- スマートフォンの電源をいったん切り、再び入れてからやり直してください。
- Bluetooth 機能がオンの場合、電波干渉により Wi-Fi 接続ができないことがあります。Bluetooth 機能をオフにしてからやり直してください。

8 これで Android 端末から本製品への接続作業は完了です。

4 Wi-Fi ゲーム機の設定例

APモードで動作する本製品に、3DS LLやPS VitaからWi-Fi接続でアクセスできるようにします。ここでは、3DS LLとPS Vitaに分けて説明します。



電波干渉を避けるため、Bluetooth機能をオフにすることを推奨します。

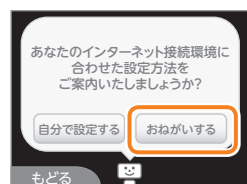
3DS LLでの設定例

1 (本体設定)→(インターネット設定)→(インターネット接続設定)をタッチします。

2 接続先の登録をタッチします。



3 [おねがいする]をタッチします。



4 この後の画面は、下記の説明どおりに選んで進みます。

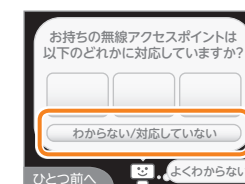
■どこでインターネットに接続しますか？ →[自宅で接続]をタッチ

■ご自宅に「インターネット接続環境」はありますか？ →[はい]をタッチ

■「無線アクセスポイント」をお待ちですか？ →[はい]をタッチ

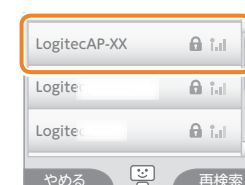
・手順 **5** へ進みます。

5 [わからない/対応していない]をタッチします。



6 「それでは、無線アクセスポイントを検索してみます!」と表示されますので、[OK]をタッチします。

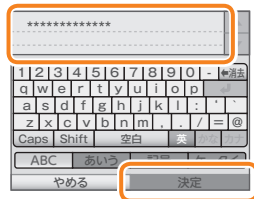
7 リストに表示された[LogitechAP-XX]をタッチします。



※ P65 手順 **5** でメモしたSSIDです。XXは任意の英数字です。

・SSIDを変更している場合は、変更したSSIDをタッチします。

- 8** P66手順 8 で設定したパスワードを入力し、[決定]をタッチします。



- 大文字/小文字が区別されます。

- 9** このアクセスポイントの保存を確認する画面が表示されますので[OK]をタッチします。

- 10** インターネットへの接続テストを実行します。[OK]をタッチします。

- 11** インターネットへの接続テストが成功すれば設定は完了です。

PS Vitaでの設定例

- 1** ホーム画面の[設定]→[はじめる]→[ネットワーク]→[Wi-Fi設定]をタップします。



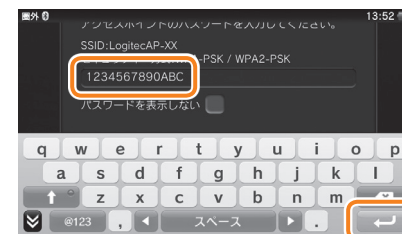
- 2** リストに表示された[LogitechAP-XX]をタップします。



※ P65 手順 5 でメモしたSSIDです。
XXは任意の英数字です。

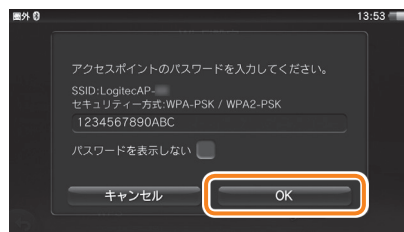
- SSIDを変更している場合は、変更したSSIDをタップします。
- 複数表示されて見えない場合は、画面を下へスクロールします。

- 3** P66手順 8 で設定したパスワードを入力し、 をタップします。



- 大文字/小文字が区別されます。

4 [OK]をタップします。



5 正しくWi-Fi接続できるSSID名の前にある がグリーンに光ります。



6 これで設定は完了です。



●SSIDをタップすると、インターネットへの接続テストができます。

●その他のWi-Fiゲーム機の接続方法に関しては、設定ポータルサイト「えれさぽ」をご覧ください。

<http://www.elecom.co.jp/support/elesupport/>

または検索サイトからひらがなにて“えれさぽ”で検索してください。



5 APモードの詳細設定

メイン画面

APモード時にユーティリティを起動すると常に表示される画面です。接続状況など基本的なステータスを表示します。また、ツールバーのボタンをクリックすることで、各種画面を表示することができます。

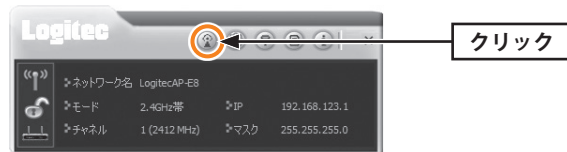


	一般的な設定 (→P80)	SSID、使用チャンネル、暗号化などの設定が可能です。
	アドバンス (詳細) 設定 (→P83)	詳細なオプションを設定できます。
	フィルタリング設定 (→P84)	APモードで本製品にアクセスする機器について、接続を許可または拒否する設定が可能です。
	現在の接続リスト (→P85)	APモードで本製品にアクセスするクライアント (無線子機) を一覧で表示します。
	情報 (→P86)	本ソフトウェアのバージョン情報などを表示します。ソフトウェアのアップデートやサポートへのお問い合わせなどで必要になることがあります。

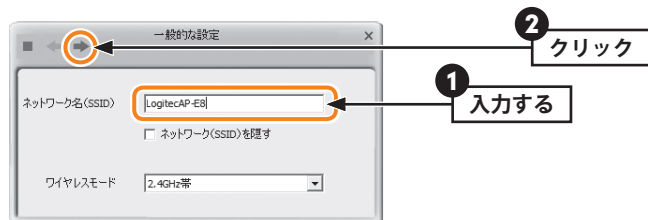
一般的な設定画面

本製品をAPモードで使用する際の基本的な項目を設定できます。おもな設定内容は、SSID、チャンネル、暗号化機能です。ここで設定したSSIDとパスワード(WPA-PSKキーまたはWEPキー)は、無線子機側の設定に必要になります。設定はウイザード形式で必要な内容を順に設定します。以下の手順で設定してください。

1 無線アイコンをクリックします。



2 SSIDを設定し、右矢印をクリックします。



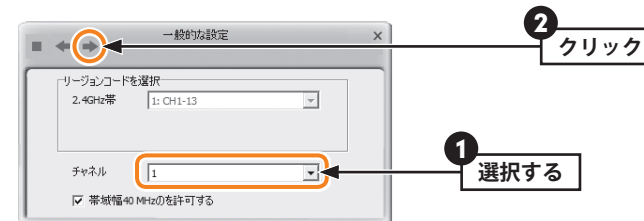
- 初期値は、LogitecAP-XX です。XXは、任意の英数字です。
- ワイヤレスモードは2.4GHz固定で、本製品では設定できません。



ネットワーク (SSID) を隠す (初期値=オフ)

この項目をオンにすると、無線子機 (無線クライアント) 側に本製品のSSIDが表示されなくなります。不正アクセスのリスクを軽減できます。ただし、無線子機側で自動表示された本製品のSSIDを一覧から選択できなくなります。

3 使用するチャンネルを選択し、右矢印をクリックします。



- [リージョンコードを選択]は、本製品では固定で変更できません。



帯域幅 40MHz を許可する (初期値=オン)

無線通信に使用する電波の帯域幅を通常の倍にあたる40MHzにすることで、より高速な無線通信を可能にします。通信が不安定な場合は、オフに設定を変更してみてください。

4 認証方式と暗号化方式を選択し、右矢印をクリックします。



5 暗号化機能を設定し、➡をクリックします。画面は選択した認証・暗号化方式により異なります。

◆WPA2-PSKの例



◆WEPの例



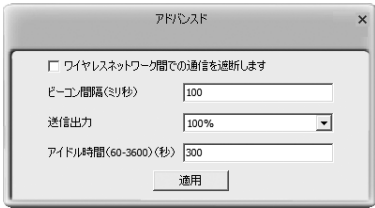
- それぞれの認証・暗号化方式にあわせて設定します。
- [更新グループ鍵間隔]は、通常は変更する必要はありません。

WPA-PSK WPA2-PSK WPA-PSK/WPA2-PSK	パスフレーズ(パスワード)を入力します。
WEP	いずれの項目も無線親機と同じ設定にします。 送信するキー：キー1～キー4 キーの形式：16進数またはASCII WEPキー：キーの形式にあわせた内容を入力

6 これでAPモードにおける本製品の基本機能の設定は完了です。

アドバンス(詳細)画面

本製品をAPモードで使用する時の詳細なオプション設定が可能です。



ワイヤレスネットワーク間での通信を遮断します	この項目をオンにすると、無線子機(クライアント)同士での通信ができないようにします。
ビーコン間隔	ビーコンを送出する間隔を設定します。
送信出力	電波の出力を調整します。リストから出力の割合を選択します。
アイドル時間	アイドル時間を設定します。

フィルタリング設定 画面

本製品をAPモードで使用するとき、ここに登録したMACアドレスを持つ無線子機（クライアント）のアクセスを許可または拒否します。



●接続のポリシーについて

すべて許可	登録したMACアドレスを持つ無線子機（クライアント）のみが本製品にアクセスできます。
すべて拒否	登録したMACアドレスを持つ無線子機（クライアント）が本製品にアクセスすることを拒否します。

●編集機能

	[物理アドレス]に入力したMACアドレスを登録します。
	リストで選択したMACアドレスを削除します。
	リストにあるすべてのMACアドレスを一括して削除します。

現在の接続リスト 画面

現在、APモードの本製品にアクセスしている無線子機（クライアント）をリストで表示します。



物理アドレス	接続中の無線子機のMACアドレスを表示します。
AID	AID (association ID)、接続している無線子機に割り当てられた番号です。
電力節電モード	接続中の無線子機が節電モード状態であることを表示します。
オンライン状態	データレートおよび関連するステータスを知ることができます。 MCS：MCS インデックス BW：バンド幅(単位MHz) GI：ガードインターバル(単位ns) Rate：データレート (Mbps)

登録の方法

- ① [接続のポリシー]でフィルタの種類を選択します。
- ② [物理アドレス]に対象となる無線子機（クライアント）のMACアドレスを入力します。
- ③ をクリックします。
- ④ すべての登録が終われば、**適用** をクリックします。

情報 画面

本ソフトウェアのバージョン情報などを表示します。ソフトウェアのアップデートやサポートへのお問い合わせなどで必要になることがあります。



バージョン	ユーティリティのバージョン、本製品のドライバソフトのバージョンなどを表示します。
MACアドレス	本製品のMAC アドレスを表示します。
Logitech ロゴ	インターネットに接続できる環境でロゴをクリックすると、ロジテック・ホームページを表示します。

Appendix

.....

付録編

1 こんなときは

無線LAN関係のトラブル

添付CD-ROMのセットアップメニューから閲覧できる「FAQ」もご参照ください。

●無線LANが繋がらない。

①ご使用のモードは、正しいですか。本製品を無線子機として使用する場合は「クライアントモード」を、有線LANに接続したパソコンに取り付けて、無線親機として使用する場合は「APモード」を利用する必要があります。

②通信モードを正しく設定していますか？ アドホック・モードの場合は、接続の設定で、アドホック・モードを使用するように設定する必要があります。P38「アドホック・モードで接続する」を参照してください。

③ネットワーク設定で実際のネットワーク環境に応じたプロトコル、サービスなどの設定をしていますか？ プロトコル (TCP/IP など)、クライアント (Microsoft Network クライアントなど)、サービス (Microsoft Network 共有サービスなど) を環境に応じて設定する必要があります。

④ルータなどのDHCPサーバ機能を使用せずにインターネットプロトコル「TCP/IP」を利用する場合は、各パソコンに手動でIPアドレスを割り当てる必要があります。

◆CATVインターネットなどでは、回線事業者からIPアドレスを指定される場合があります。その場合は指示に従ってください。

⑤本製品のセキュリティ設定やアクセスポイントのMACアドレスフィルタリング設定は正しいですか？ セキュリティ設定は、無線LANネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定にする必要があります。また、MACアドレスフィルタリングを設定していると、設定条件によっては無線LANに接続できない場合があります。

●クライアントモード時に、[Start PBC]を押しても無線親機につながらない。(無線ルータからIPアドレスが割り振られない)

①本製品を取り付けたまま、パソコンを再起動してみてください。

②クライアントユーティリティのメイン画面にあるアンテナアイコンがオフの状態になっていないか確認してください。アンテナのアイコンから緑色の電波が出ていない場合は、アンテナをクリックしてください。

オンの状態＝

オフの状態＝

③パソコンに内蔵されている無線LAN機能は、無効になるように設定してください。無線LAN機能を無効にする方法は、パソコンに付属の説明書をお読みください。また、本製品以外の外付け無線子機(無線アダプタ)を同時に使用しないでください。

④近くに電子レンジやコードレス電話、またはBluetoothなど、「2.4GHz」帯の電波を使用する機器があると、電波干渉が発生し、正常に接続できない場合があります。周囲にそのような機器があれば、使用を一時中止したり、電源を切ってください。

●クライアントモード時に、インターネットにつながらない。(IPアドレスは割り振られているが、つながらない)

①無線親機の設定が正しくされているか確認してください。無線ルータに有線LANで接続したパソコンからインターネットに接続が可能かを確認してください。

②無線LANの暗号化設定が正しいか、もう一度確認してください。

③無線LANにつながる場合は、本製品を取り付けたパソコンに正しくIPアドレスが割り振られているかを確認してください。クライアントユーティリティのメイン画面のステータスに「IPアドレス」が表示されます。IPアドレスが正しく割り振られていない場合は、「169.254.xxx.xxx」のように表示されます。このような場合は、もう一度、P24「2.無線LANで接続する」の作業をやり直してください。

●電波状態が不安定です。(つながったり、切れたりする)

- ①本製品と無線親機の距離を近づけて使用してみてください。近づけると安定する場合は、距離が遠すぎたり、あいだに電波をさえぎる物があると考えられますので確認してください。
- ②近くに電子レンジやコードレス電話、またはBluetoothなど、「2.4GHz」帯の電波を使用する機器があると、電波干渉が発生し、正常に接続できない場合があります。周囲にそのような機器があれば、使用を一時中止したり、電源を切ってください。
- ③Windows 7では、サービスパック (SP) のバージョンが「SP1」以降である必要があります。Windows Vistaでは「SP2」以降、Windows XPでは、「SP3」以降である必要があります。ご使用のWindowsのサービスパックのバージョンを確認し、該当以前のサービスパックのWindowsをご使用の場合は、アップデートを実行してください。
- ④無線親機のチャンネルを変更してみてください。変更方法は、無線親機のマニュアルをお読みください。
- ⑤本製品のユーティリティとドライバをアンインストールし、もう一度インストールしてください。アンインストールの方法は、P95「2.ユーティリティとドライバの削除方法」をお読みください。
- ⑥Windowsのファイアウォール関係の設定で、ワイヤレスネットワーク (画面表示名：LAN-W150NU2) に関するファイアウォール機能を解除してみてください。
※ご使用のモデルの製品型番とは異なり、「LAN-W150NU2」と表示されます。

ご参考：ファイアウォール設定画面の表示手順

※コントロールパネルがクラシック表示の場合は、表示が多少異なります。

◆Windows 8の場合

- ①スタートメニューでマウスを右クリックします。
- ②画面左下方に表示された[すべてのアプリ]をクリックします。
- ③[コントロールパネル]をクリックします。
- ④[システムとセキュリティ]をクリックします。
- ⑤[Windows ファイアウォール]をクリックします。
- ⑥画面左メニューの[Windowsのファイアウォールの有効化または無効化]をクリックします。
- ⑦[プライベートネットワークの設定]にある[Windows ファイアウォールを無効にする (推奨されません)]を選択し、[OK]をクリックします。

◆Windows 7/Vistaの場合

[スタート]→[コントロールパネル]→[システムとセキュリティ (Windows Vista：セキュリティ)]で[Windows ファイアウォールの無効化]を選択します。「無効 (推奨されません)」を選択し、[OK]をクリックします。

◆Windows XP SP3以降の場合

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[セキュリティセンター]で[Windows ファイアウォール]を選択します。「無効 (推奨されません)」を選択し、[OK]をクリックします。

- ⑦セキュリティソフトをご使用の場合は、ご使用のセキュリティソフトの説明書をお読みになり、ファイアウォール機能をいったん停止してください。

●アドホック・モードでつながらない。

無線子機のうち1台は、必ずSSIDを設定してください。

※Windows 8/8.1は、ad hocに対応していません。

●セキュリティ機能を設定後に無線LANがつかない。

- ①セキュリティ設定は、同じ無線LANネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定になっている必要があります。設定が少しでも異なる機器はネットワークに接続することができません。
- ②各セキュリティ機能で使用するパスワードや暗号などの文字列は大文字と小文字が区別されたりします。また、意味のない文字列は入力ミスが発生しやすいので特に注意して確認してください。

◆セキュリティ設定でのトラブルのほとんどがスペルミスや設定ミスですのでよく確認してください。

- ③設定を変更した直後や設定が正しい場合は、アクセスポイントを含め、すべての機器の電源を入れ直してから接続してみてください。

●WPSがつかない。

- ①もう一度初めからやりなおしてください。
- ②PINコードによる設定の場合、PINコードの設定モードや、入力したPINコードが誤っていることがあります。もう一度初めからやりなおしてください。

**WPS機能を利用した接続に失敗する場合**

WPS機能を利用した接続に繰り返し失敗する場合は、手動で接続してください。手動での接続方法については、[P33「手動設定で接続する\(WEP/WPA-PSK/WPA2-PSKを使う\)」](#)をお読みください。

共通のトラブル**●インターネットに接続できない。**

- ①TCP/IPプロトコルが正しく設定されているかを確認してください。OSの[ネットワーク]画面でTCP/IPプロトコルが設定されているかを調べてください。見当たらない場合は、TCP/IPプロトコルを追加してください。
- ②DHCPサーバ機能を使用していない場合は、IPアドレスを手動で割り付けてください。OSのTCP/IPのプロパティにある[IPアドレス]タブで設定します。
- ③TCP/IPプロトコルの設定が正しいかを確認してください。プロバイダによって、IPアドレスを自動取得する場合と固定IPアドレスを指定する場合があります。プロバイダから提供されるマニュアルで確認のうえ、正しい設定をおこなってください。
- ④プロバイダから提供された情報をすべて設定したかを確認してください。IPアドレス以外にも、識別情報の指定などが必要なことがあります。プロバイダから提供されるマニュアルで確認のうえ、正しい設定をおこなってください。

●本製品の設定は正常に終了したが、ネットワークパソコンを開くと「ネットワークを参照できません。」のエラーが表示される。

- ①正常にネットワークの設定ができていない可能性があります。もう一度、デバイスマネージャなどで本製品の設定を確認し、OS側が本製品を正常に認識しているか調べてください。

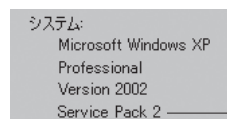
●他のパソコンのファイルやプリンタの共有ができない。

- ①ネットワーク設定をしましたか？
無線LANが正常に動作していてもネットワーク設定ができていないとファイルの共有やプリンタの共有はできません。
- ②ネットワークには接続できて相手側へ入れるようになったが、相手側のドライブやプリンタの使用ができないときは次の点を確認してください。
 - ・利用者がアクセスを許可するユーザーとして登録されていますか？ ユーザーが登録されているか確認してください。
 - ・利用者が共有フォルダにアクセスできるように設定していますか？ また、アクセス内容を正しく設定していますか。NTFSフォーマットのハードディスクの場合は、さらにセキュリティ設定でも利用者を登録しておく必要があります。

●Windows XP でインストールを実行すると、「Wlanapi.dllが見つかりません」と表示されます。

Windows XP で「セットアップツール」を実行すると、「Wlanapi.dllが見つかりません」と表示されることがあります。この場合、ご使用の Windows XP のエディションが SP2 以前の可能性があります。以下の操作で Windows XP のエディションを確認してください。

- ① Windows XP のデスクトップ画面にある「マイコンピュータ」アイコンを右クリックします。
- ② リストの「プロパティ」を選択します。〈システムのプロパティ〉画面が表示されます。
- ③ 【全般】タブにある「システム」項目に、「Service Pack 3」という表示があるかを確認します。
- ◆ 「Service Pack 3」という表示がない場合は、Windows XP を「SP3」にアップデートする必要があります。
[スタート]→[すべてのプログラム]→[Windows Update]などを使って、SP3 にアップデートしてください。



Service Pack 2 の画面例

●Windows XP でネットワーク設定ができない。

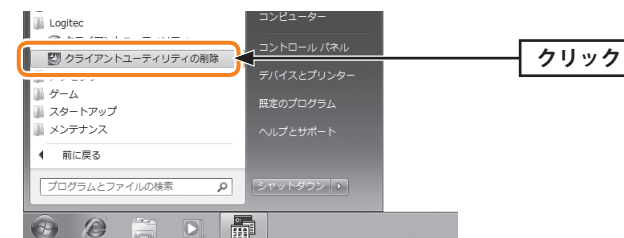
Administrator 権限でログオンしていますか？ ネットワークの各種設定には Administrator 権限がないと設定できない項目があります。

●Windows 8/7/Vista で「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示される。

パソコンの利用者が意図しない設定変更を防ぐため、重要な設定項目を変更するときに「ユーザーアカウント制御」ダイアログを表示して確認を促すようになっています。意図した操作であれば「はい」をクリックしてそのまま操作を続けて問題ありません。

2 ユーティリティとドライバの削除方法

1 [スタート]→[(すべての) プログラム]→[Logitech]→[クライアントユーティリティの削除]を選択します。



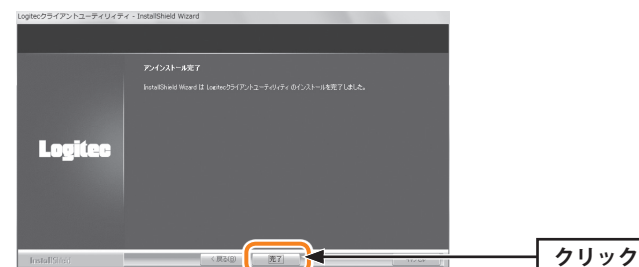
Windows 8/7/Vista の場合

「クライアントユーティリティの削除」を実行すると、〈ユーザーアカウント制御〉画面が表示されますので、「はい」をクリックします。

2 「はい」をクリックします。



3 アンインストール完了のメッセージが表示されます。「完了」をクリックして、パソコンを再起動します。



3 付属のCD-ROMが見あたらない場合

弊社ホームページよりプログラムをダウンロードして設定できます。以下の流れで設定してください。

- ❶ 弊社ホームページより本製品のドライバソフトをダウンロードします。
 - ※インターネットへは、有線LANで接続するなどしてください。
 - ※製品型番検索システムをご利用ください(<http://dl.logitech.co.jp/top.php>)。
- ❷ 本製品を使用するパソコンのデスクトップ上で、ダウンロードしたZIPファイルを解凍します。
- ❸ 解凍されたフォルダを開き、「setup (.exe)」をダブルクリックします。
- ❹ 〈ユーザー アカウント制御〉画面が表示されますので、[はい]をクリックします。
- ❺ [インストール]をクリックします。
- ❻ インストール終了の画面が表示されたら、[完了]をクリックします。
- ❼ このあとはご使用の目的にあわせて、該当のページへ進みます。

●パソコンに取り付けて無線子機として使用する場合→P24「2.無線LANで接続する」

- スマートフォンやWi-Fiゲーム機の無線親機として使用する場合
- ・スマートフォンやタブレットの場合→P68「3.スマートフォン・タブレットの設定例」
 - ・Wi-Fiゲーム機の場合→P74「4.Wi-Fiゲーム機の設定例」

4 補足事項

補足1：Windowsのユーザー権限の確認方法

Windowsにログオン中の現在のユーザー権限は、以下の方法で確認することができます。ログオン中のユーザーに管理者権限がない場合は、管理者権限のあるユーザーでログオンするか、現在のユーザーの権限を変更してください。

●Windows 8の場合

- ❶ スタート画面で右クリックし、画面下の[すべてのアプリ]をクリックします。
- ❷ 「Windows システムツール」にある[コントロールパネル]をクリックします。
- ❸ [ユーザー アカウントとファミリー セーフティ]→[ユーザー アカウント]の順でクリックします。
- ❹ 表示された画面の右側にアカウント名と権限が表示されます。
 - ・権限が「Administrator」になっていることを確認します。

※権限が異なる場合は、アカウントの種類を「Administrator」に変更してください。

●Windows 7/Vistaの場合

- ❶ [スタート]→[コントロールパネル]をクリックします。
- ❷ [ユーザー アカウントと家族のための安全設定]→[ユーザー アカウント]の順でクリックします。
- ❸ 表示された画面の右側にアカウント名と権限が表示されます。
 - ・権限が「Administrator」になっていることを確認します。

※権限が異なる場合は、アカウントの種類を「Administrator」に変更してください。

●Windows XPの場合

- Windowsのデスクトップ画面左下の[スタート]→[コントロールパネル]をクリックします。
- リストの右上に現在ログオン中のアカウント名が表示されますのでメモします。

(カテゴリ表示の場合)

- [ユーザーアカウント]をクリックします。
- 「コントロールパネルを選んで実行します」の[ユーザーアカウント]をクリックします。
- 「変更するアカウント」の下に、アカウントが一覧で表示されます。ログオンしているアカウントが「コンピュータの管理者」となっていることを確認します。

(クラシック表示の場合)

- [ユーザーアカウント]をダブルクリックします。
- 「変更するアカウント」の下に、アカウントが一覧で表示されます。ログオンしているアカウントが「コンピュータの管理者」となっていることを確認します。
- アカウントの変更(アカウントを変更する)をクリックします。

補足2：本製品を取り付けたパソコンのIPアドレスを知りたいとき(クライアントモード時)

本製品のクライアントユーティリティからIPアドレスを知ることができます。

- クライアントユーティリティを起動します。
- メイン画面にある「IP」が本製品を取り付けたパソコンのIPアドレスです。



本製品を取り付けたパソコンの
IPアドレスとサブネットマスク

5 基本仕様

インターフェイス	USB2.0/1.1
規格	IEEE802.11g/ IEEE802.11b/ ARIB STD-T66
周波数帯域	2.412～2.472GHz (中心周波数)
チャンネル	1～13ch
伝送方式	11n接続時：OFDM方式、11g：OFDM方式、11b：DS-SS方式
データ転送速度 (理論値)	11n接続時：最大150Mbps、11g：54/48/36/24/18/12/9/6Mbps、 11b：11/5.5/2/1Mbps
アクセス方式	インフラストラクチャ/アドホック Windows 8/8.1は、adhoc非対応
アンテナ方式	内部基板アンテナ1本
送信出力	10mW/MHz以下
セキュリティ	WEP (64/128ビット)、WPA-PSK (TKIP)、WPA2-PSK (AES)
環境条件	温度：0～40℃、湿度：20～80% (結露なきこと)
設定方式	WPS (クライアントユーティリティ上のソフトウェアボタンによる)
消費電力(定格)	230mA/5V
外形寸法	幅14.9×奥行18.5×高さ7.1mm (突起物含まず)
質量	約2g

●対応機種：以下のOSに対応したWindowsマシン

クライアントモード(子機モード)	Windows 8 (32/64bit)、Windows 7 SP1～(32/64bit)、 Windows Vista SP2～(32bit)、Windows XP SP3～
APモード(親機モード) ^{※1、※2}	Windows 8 (32/64bit)、Windows 7 SP1～(32/64bit)、 Windows Vista SP2～(32bit)、Windows XP SP3～

※1 スマートフォン、タブレット、Wi-Fiゲーム機などの対応端末で使用する場合の対応機種です。

※2 Windows 8/7をご使用の場合は、上位にルータが必要です。

■ソフトウェアAPモード時の仕様^{※1}

初期値	暗号化設定	本製品は、工場出荷時の暗号化設定は「なし(未設定)」です。
	SSID	LogitecAP-XX ※XXはランダムな英数字です。
WPS	非対応	
接続可能な子機台数	3台まで(推奨) ^{※2}	

※1 APモードは、Windows 8 (32/64bit)、Windows 7 SP1～(32/64bit)、Windows Vista SP2～(32bit)、Windows XP SP3～でのみご使用いただけます。

※2 ご使用の環境によっては3台以下になる場合があります。



IEEE802.11n/11g/11b準拠 USB2.0対応 無線LANアダプタ
LAN-W150NU2AB・AW・HT / LAN-GMW3DS・VIT
ユーザーズマニュアル

発行  ロジテック株式会社 2014年3月24日 第2版

©2013 LOGITEC CORPORATION. All rights reserved.